

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	顧客の意見を共有化し、商品の開発や改善に向けて職員と利用者が一体となって取り組んでいます
	内容	事業所では得意先へのアンケート調査を実施し、顧客のニーズにマッチした新メニューの開発や既存商品の改善を行っています。新メニューの開発にあたっては、毎月メニュー会議を開催し、職員と利用者が一体となって新メニューの考案や試作を繰り返しながら新商品の開発を行っているほか、既存メニューの改善や商品の味付け、品質の向上に向けた取り組みが行われています。また、みくまでは地域のお弁当屋さんとして、地域との馴染みの関係が築かれており、1コインで食べられる美味しいお弁当屋さんとしてのブランドを大切に取り組んでいます。
2	タイトル	利用者に対する支援が事業所を超えて行われており、将来につながる支援が行われています
	内容	当事業所は市内において唯一の就労継続支援A型事業として弁当製造、清掃作業、軽作業等の作業提供を通じて作業のみならず一社会人としての常識やビジネスマナー、人との関わりを学びながら、一般就労に向けての足がかりとなるようサービスが提供されています。また、法人では障害福祉サービス事業において幅広く事業展開されており、就労移行支援や就労定着支援、就労・生活支援センターの運営が行われており、利用者に対する支援を事業所を超えて行うことができる環境が整備されており、利用者の将来につながる支援が行われています。
3	タイトル	利用者の特性に合った個々の能力が発揮できるよう支援に努めています
	内容	事業所では利用者個々の障害特性を理解し、A型事業所として利用者職員が共に働く関係性を意識して支援をしています。また、利用者とのコミュニケーションのとり方では、利用者一人ひとりに合わせて、声のかけ方や励まし方を考慮しています。利用者の中には自分から希望や不満をなかなか口に出せず、抱え込んでしまうこともあるので、普段の何気ない会話の内容に注意し、意向をくみ取るよう努めています。作業分担においても利用者の得意、不得意を配慮した配分を行っており、利用者の特性に合った個々の能力が発揮できるよう支援に努めています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	事業所内のプライバシーへの配慮やリスク面の改善が求められます
	内容	事業所では、地下に事務室・休憩室・更衣室などを置き、1階に厨房を配置しています。また、バックヤードとなる地下スペースは空間的余裕が少ない中で、整理・整頓を促して空間の有効活用が行われています。しかし、事務室や更衣室などが同一空間にありカーテンやパーティションなどで簡易的に仕切られているため、職員同士の会話が聞こえてしまったり、更衣室が密閉空間ではないことから細かなプライバシーへの配慮が求められます。また、1階と地下を結ぶ階段スペースが狭く急であることからリスク管理の面からも将来的な改善が望まれます。
2	タイトル	将来を見据えてマニュアルの目的を理解した上での有効活用化が望まれます
	内容	事業所では、日常的な職務内容の手順書として業務管理マニュアルを整備しており、各種作業についての作業マニュアルや清掃業務管理、衛生管理に関する手順を写真付きでわかりやすく明示し、職員の支援内容の統一性の確保に努めています。しかしながら、必ずしも明文化されていない業務内容や個人のキャパシティに頼る部分も残されています。現状は、職員間のコミュニケーションが円滑に進められており、支援上に支障はありませんが、今後は職員育成や業務標準化の観点から、将来を見据えてマニュアルの目的を理解した上での有効活用化が望まれます。
3	タイトル	多くの相談支援に計画的に対応する工夫が期待されます。
	内容	弁当製造への意識の向上を図るため、月間目標販売数などの目標を掲げ、利用者職員が一丸となって製造活動を行っています。その結果、美味しいお弁当屋の評価を得るなど地域の顔としても定着しており、一日250食以上を製造・販売しています。一方で、販売数の増加に伴う作業量の増加などにより、相談を受けたその時に面談を行わず、別に時間を設けて行う場合もあるようです。また、作業中や休憩時間など職員は声掛けなどに努めていますが、相談を希望する利用者も多く、限られた時間や部屋数の中で計画的に相談に対応する工夫が期待されます。